

自殺対策計画主要事業の実績【文京区】

【資料 第4号】

計画における項目	実施内容	計画書ページ	担当部署	担当課	令和7年度実施状況	令和7年度 実施状況に関する担当課の評価	達成度(%)	今後(令和8年度以降)の実施計画
基本施策1 区民への自殺対策の啓発と周知								
1-1. 自殺対策に関する理解の促進	自殺対策講演会	34	保健衛生部	予防対策課	年1回実施 71名(申込105名)	「自分が嫌い病」で苦しむあの子のこころといのちの守り方」をテーマに増加する子ども・若者の自殺、思春期の心の発達、精神医学的問題を学んだ。	参加者の満足度 96.3%	子ども・若者、勤務問題、女性の自殺対策等、引き続き区の実情に応じた講演会内容を検討し、対面開催を継続実施する。
1-2. 自殺やこころの健康に関連する情報提供の充実	相談窓口リーフレットの作成配布	34	保健衛生部	予防対策課	リーフレットを9,000部作成し、関係機関（各課・医療機関・関係施設・保育園・幼稚園・学校等）に広く配布。イベントや研修等でも配布した。文京区ホームページに掲載	区民対応部署、区内関係機関、医療機関、学校を中心に広く配布を行うことができた。	実施	引き続き、同等部数作成し、情報提供を実施する。
	こころの体温計	34	保健衛生部	予防対策課	令和7年度アクセス数 11月現在8,310人（参考）令和6年度アクセス数 延べ15,843人	ホームページ等で周知し、啓発を行った。	各月のアクセス実数1000人以上不達成（R7.11月現在）	実際の計測数も年々減少しているため、令和8年度の実績を精査し、今後の継続を検討する。
	自殺対策啓発グッズの作成・配布	34	保健衛生部	予防対策課	都の自殺対策強化月間における街頭キャンペーンと連携を図り、礒川公園周辺、都営大江戸線春日駅構内で9月12日及び3月13日(予定)にリーフレット・啓発品等を各330セット配布、啓発付せんと啓発ティッシュを各100個配布 高齢者向けにリーフレット「高齢者のうつにご用心」を「文の京介護予防体操」の地域会場で600部配布した。	区ホームページ「相談先～ひとりではやまないで～」につながるQRコードを載せたふせんとウェットティッシュを作成し配布。街頭キャンペーンは配布場所、配布部数、担当人員を増やし周知啓発を行った。	実施	不安や悩みを抱えた人が相談や必要な支援にたどり着けるよう新たな発信・媒体・手法の工夫をする。
1-3. ライフステージに応じたこころの健康づくりの推進	精神保健講演会	45	保健衛生部	保健サービスセンター	「精神科医が教える！心に効く食事・運動・睡眠の整え方」「正しく知って安全に使うAIメンタルセルフケア～こころを守る新しい選択肢（2月実施予定）」の年2回開催	「健康のための生活習慣」「AIとの付き合い方」のテーマで区民に対し知識を普及することができた。	100%	社会状況、住民ニーズを検討した上で、精神保健に関する知識普及のための専門家による講演会を実施する。
	いのちと心の授業	45	教育推進部	教育指導課	全小中学校を対象に、外部講師を招いた「いのちと心の授業」を実施した。	各校の児童生徒の実態に合わせ、東京助産師会や東京弁護士会、地域の病院等から講師を招聘し、いのちと心の授業を行った。講師の話を通して、自他を尊重することの大切さを学び、命について深く考える機会となった。	100%	引き続き、全小中学校で実施する。また、学校間で講師情報を共有することで、児童生徒の実態に応じた講師の設定ができるようにする。
基本施策2 自殺対策を支える人材の育成								
2-1. 区職員や地域のキーパーソンなど様々な分野でのゲートキーパーの養成	ゲートキーパー養成講座	48	保健衛生部	予防対策課	区民(在住・在勤・在学)向け(年2回実施) ・基礎① 37名 ・基礎② 39名	「こころの叫びに気づいたら」をテーマに開催。講座時間を例年より30分延長しロールプレイの時間を多く設けた。参加定員(各30名)を超え多くの方が参加。受講者には「修了証」とピンバッジ(今年度新たに作成)を交付した。	参加者のゲートキーパーの役割や対応についての理解度 100%	出前講座等、講座の体系について検討の上、引き続き、対面開催にて継続実施する。
	全職員を対象としたゲートキーパー養成講座の実施	48	保健衛生部	予防対策課	年3回実施 ・基礎① 30名 ・基礎② 18名 ・応用 42名(地域支援者 4名含)	基礎はR6に区民向け講座で満足度の高かった講師により開催。また、応用は、教育センターにて開催し、文京区SSWが全員参加した。受講者には「修了証」とピンバッジを交付した。	受講者が所属する課の割合 62.7% (51課の内、32課)	講座の体系、内容等について検討の上、引き続き、全庁で連携、支援できる体制作りの構築を目指し全職員を対象に継続実施する。達成度はR10度までに100%をめざす。
	オンデマンド・ゲートキーパー養成研修(動画)	48	保健衛生部	予防対策課	文京区ホームページにて、オンデマンド配信動画(全3部)をYouTubeにて掲載	令和7年度再生回数 第1部24回、第2部16回、第3部12回	数値評価は困難	継続実施
	ゲートキーパー研修	48	教育推進部	教育センター	年1回実施 教職員向け 49名	区内幼小中学校教員を対象とし、「いのちの教育」を推進するために必要な、生命に関わる重大事故の未然防止・相談支援につながる事ができる資質・能力を高めるとともに、怒りを中心とした感情のコントロールの手法を学び、指導力の向上を高めることができた。	参加者の理解度 100%	継続実施
2-2. ゲートキーパーの資質の向上	専門的な知識を持った支援者の育成や研修で活用できる資料の検討	48	保健衛生部	予防対策課	ゲートキーパー養成講座のアンケートの様式の整備と講座参加者への自殺対策計画の周知	ゲートキーパー養成講座のアンケート項目を見直し、受講者の主観的な指標(理解・満足・自己効力感)を測れるものとした。また、自殺対策事業の取組をご存知か問うことで情報提供を行い、周知、啓発につなげた。	数値評価は困難	各分野の関係者に講座等の情報提供を積極的に行い、引き続き受講を促していく。

自殺対策計画主要事業の実績【文京区】

【資料 第4号】

計画における項目	実施内容	計画書ページ	担当部署	担当課	令和7年度実施状況	令和7年度 実施状況に関する担当課の評価	達成度(%)	今後(令和8年度以降)の実施計画
基本施策3 自殺を防ぐための関係機関・地域ネットワークの強化								
3-1. 自殺対策関係会議の運営	文京区自殺対策推進会議	50	保健衛生部	予防対策課	年1回開催	令和8年2月25日実施予定 保健、医療、福祉、労働、教育等の関係機関と行政機関で構成し、文京区自殺対策計画（令和6年度～令和10年度）に基づき、自殺対策の取組について評価、検証を行う。	実施	文京区自殺対策計画（令和6年度～令和10年度）に基づき、引き続き、自殺対策の取組について評価、検証を行う。
	文京区自殺対策委員会	50	保健衛生部	予防対策課	委員会：年1回開催 幹事会：年1回開催	幹事会：令和8年1月16日実施 委員会：令和8年1月22日実施	実施	自殺対策に関する適切な事業等を検討し、庁内の関係部署の連携体制の構築、重層的支援体制の整備に取り組んでいく。
3-2. 関係機関と連携した自殺対策の推進	区内大学地域連携担当者会議	50	アカデミー推進部	アカデミー推進課	1回参加	区内大学に向け、自殺対策の啓発周知のため、「相談窓口一覧」の周知及び大学連携事業の説明を行った。	実施	若年層の自殺対策を推進するため、引き続き、区内大学と自殺対策の情報共有を行っていく。
	文京区区内大学連携事業	新規	保健衛生部	予防対策課	大学：令和8年1月設置 図書館、シビックセンター等：令和8年3月 設置予定	区内大学19校に協力を要請。協力大学（東洋大学、中央大学）と共同制作した自殺予防のメッセージやイラストと相談窓口一覧へのリンクQRコードを印字したトイレットペーパー(9120個)とメッセージメモ(2000冊)を作成し、区内の設置協力施設に配布。 トイレットペーパーとメッセージメモ、チラシ設置施設：6大学、7図書館、教育センター、シビックセンター メッセージメモ、チラシのみ 設置施設：15大学	実施予定	HPアクセス数、設置者実施後アンケート、意見・感想アンケートを参考に、より効果的な事業を行う。この取組を通して区内大学と連携体制を盤石にする。
	文京区地域精神保健福祉連絡協議会	51	保健衛生部	予防対策課	年2回開催	区の精神保健福祉施策について、検討を実施した。	実施	精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築に向けた議論を深めるため、継続実施する。
	文京区精神障害者支援機関実務者連絡会	51	保健衛生部	予防対策課	年3回開催	区内精神障害者に関わる事業者に向け、連携体制の構築と支援の質の向上を目的として、各回テーマを設けて開催した。	実施	引き続き年3回実施する。区内在住の精神障害者が地域に定着し、自立した生活を送ることができるように支援を行っている関係事業者同士の連携を図る。
基本施策4 悩みを抱える人への支援								
4-1. 相談体制の充実	ICTを活用した自殺対策事業（業務委託）	新規	保健衛生部	予防対策課	ウェブの検索サイトで、自殺の手段や希死念慮等を伺わせる自殺関連ワード検索を行う者に対して、相談窓口を紹介する広告を表示し、ワンクリックでメール相談に誘導して現実の相談につなぐ。 R7相談者数(11月現在)：56名(男性14名、女性40名、その他2名) 10代/11名、20代/21名、30代/12名、40代/9名、50代/2名、60代以上/1名	月1回、定例会を実施し、受託者と情報を共有、業務の進捗状況について確認し、必要に応じて適切な関係機関につなげられるよう検討した。	数値評価は困難	継続実施 受託者と更に情報共有を密にし、緊急対応の際には共に対応方針を協議する。
	保健師による健康相談	56	保健衛生部	保健サービスセンター	訪問、所内、電話にて精神障害を持つ方およびその家族等からの総合的・専門的な相談対応を実施している。	引き続き、精神障害を持つ方およびその家族等を中心に保健師による相談を継続していく。	数値評価は困難	継続実施
	精神保健相談	56	保健衛生部	保健サービスセンター	専門医師による個別相談を年48回実施し、精神障害を持つ方およびその家族等の専門相談対応を実施している。	引き続き、精神障害を持つ方およびその家族等を中心に医師による専門相談を継続していく。	数値評価は困難	継続実施
	障害者基幹相談支援センター	54	福祉部	障害福祉課	障害の種別（身体障害・知的障害・精神障害・難病等）にかかわらず、総合的・専門的な相談対応を実施した。	障害の種別（身体障害・知的障害・精神障害・難病等）にかかわらず、総合的・専門的な相談対応を継続実施する。	数値評価は困難	継続実施
	地域安心生活支援事業	56	福祉部	障害福祉課	精神障害者が地域で安心して生活するための相談事業、緊急ショートステイ事業、地域生活体験事業を実施した。	精神障害者が地域で安心して生活するための相談事業、緊急ショートステイ事業、地域生活体験事業を継続実施する。	数値評価は困難	継続実施
4-2. 自殺未遂者への支援体制の確保	自殺未遂者対策連絡会	56	保健衛生部	予防対策課	年1回開催	令和8年1月26日開催 今年度は区内大学の学生支援部署も参加し、庁内各関係部署、2次、3次救急医療機関、地域関係機関と支援者支援をテーマに情報共有した。また、会議に先立ち、区内精神科・心療内科に自殺支援者に関するアンケートを行い、集計結果を共有。	実施	事業目的の整理を行った上で、形態（例：会議体、研修、勉強会など）、開催回数、開催時期、出席者などを検討する。